



# ABOUT US

## アール・ブリュット インフォメーション&サポートセンター(略称:アイサ)とは?

アイサは、2012年6月に社会福祉法人グロー(GLOW) ※当時は滋賀県社会福祉事業団 内に開設した障害者芸術活動支援センター。障害のある人やそのご家族、福祉事業所からの相談、美術館や諸団体からの問い合わせに対し、作者の権利が保護されるための助言や作品に関わる(関わろうとする)人と人とが信頼関係を持って繋がるための中間支援を行っています。

例えば

施設で新たに造形活動を始めたいが、何から始めて良いか分からない。

施設の作品で図録を製作するため、印刷業者に発注する方法を教えて欲しい。

展覧会で自分の作品を発表したいので、公募展の情報が欲しい。

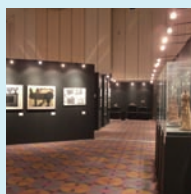
書籍の表紙にAさんの作品の写真を掲載したいので、作者のAさんを紹介してほしい。

出展の依頼があったが、安心して出展するために何を確認したら良いか教えて欲しい。

作者(利用者)の作品を活用するための作者との契約について参考例を教えて欲しい。

**INFORMATION**  
まずはお電話・メールで  
ご相談ください。

〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦4837番地2  
TEL 0748-46-8118 FAX 0748-46-8228  
MAIL artbrut\_info@glow.or.jp URL http://info.art-brut.jp  
助成：障害者の芸術活動支援モデル事業(厚生労働省補助事業)



展覧会の開催方法や、全国の公募展などの情報提供を行います。



造形活動に関する、お悩みをサポートします。

## 申込方法

参加ご希望の方はメールもしくはFAXにて、下記内容をご記入の上、お申込ください。 ※定員に達し次第締め切り

MAIL **artbrut\_info@glow.or.jp** FAX **0748-46-8228**

氏名	施設名/学校名
職名	電話番号
メールアドレス	
参加希望の回	
<input type="checkbox"/> 2016.8.10→PROGRAM.1「作者の権利保護に関する研修会 in 米原」 <input type="checkbox"/> 2016.11.4→PROGRAM.6「アトリエ活動と美術館からアール・ブリュットを考えよう」	
<input type="checkbox"/> 2016.8.31→PROGRAM.2「作者の権利保護に関する研修会 in 草津」 <input type="checkbox"/> 2016.12.10→PROGRAM.7「作品を言葉にして、手で見て、鑑賞しよう」	
<input type="checkbox"/> 2016.9.14→PROGRAM.3「作品をつかったグッズの製作と販売について」 <input type="checkbox"/> 2017.1.21→PROGRAM.8「障害のある人の作品と向き合うということ」	
<input type="checkbox"/> 2016.8.30~12.2→PROGRAM.4「学芸員による作品展示の実地研修」 <input type="checkbox"/> 2016.10.3→PROGRAM.5「〈感触遊び〉の視点で造形活動を見てみよう」         ※PROGRAM.9と「第13回滋賀県施設合同企画展」はお申込不要です。	
各プログラムをより充実した企画にするため、次の質問にお答えください。	
①今、障害のある人の造形活動に関する取り組みをされていますか？	
はい・いいえ →「はい」の方は取り組み内容をご記入ください ( )	
②作者の権利保護に関する取り組みをされていますか？	
はい・いいえ →「はい」の方は取り組み内容をご記入ください ( )	
③研修会でどのようなことを学びたい(体験したい)ですか？	

# OUTLINE

平成24年にアイサを開設して5年目となる今年、これまでの受講者の意見や他の都道府県の実践を参考に、充実した研修会を企画しました。本スキルアップセミナーは、<作者の権利保護>と<美術活動>に関する知識やノウハウを総合的に習得していただける研修会です。すべてに参加いただけますし、それぞれの現場の実状や課題に合わせて選択して参加することもできます。障害者の芸術活動支援に関心のある方々、ぜひご参加ください。



# 障害者の 芸術活動支援 スキルアップセミナー

アール・ブリュット インフォメーション&サポートセンター(アイサ)

## 2016.8 START

参加無料

対象/障害者の芸術活動を支援している人  
障害者の芸術活動支援を始めようとしている人  
障害者の芸術活動支援に関心のある人

## 障害者の芸術活動支援モデル事業とは?

本事業は、平成26年に全国5か所でスタートし、今年は10の団体が、障害のある作者やその家族、障害のある人たちの造形活動を支援する人たちを支える様々なプログラムを実施しており、そのノウハウを積み上げて全国に普及していくことを目的としています。詳細はウェブサイトからご覧いただけます。

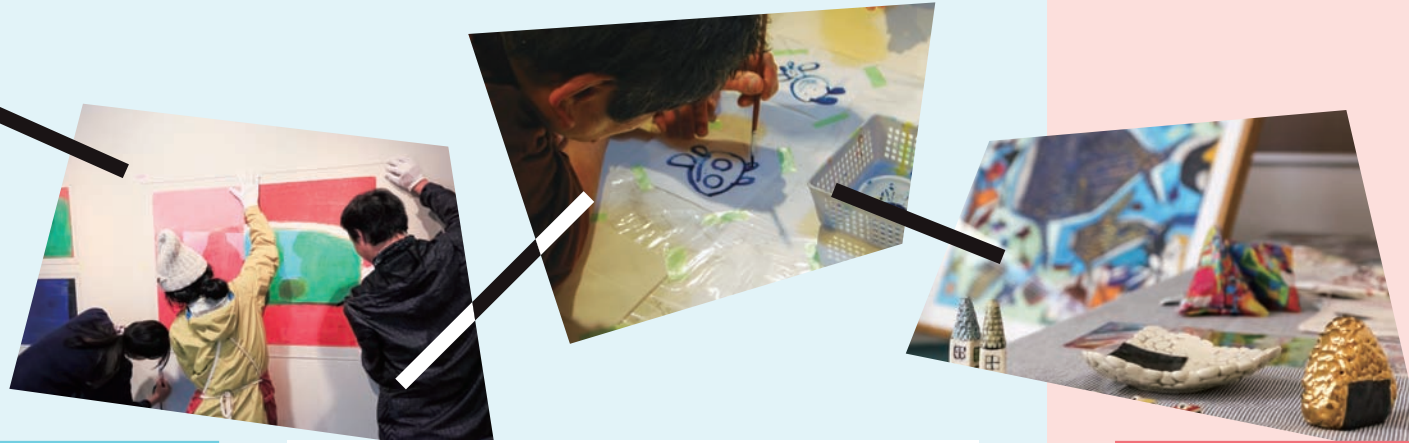
<http://renkei-sgsm.net>

助成：障害者の芸術活動支援モデル事業(厚生労働省補助事業)





# 障害者の 芸術活動支援 スキルアップセミナー PROGRAM



## 展覧会情報

※本展の実行委員会への参加者を随時募集しています。お問い合わせは裏面のアイサまで。

## 「第13回滋賀県施設合同企画展」

滋賀県内の福祉事業所と特別支援学校等とNO-MAが実行委員会を組織して企画・開催する展覧会。

会期①/2016年12月3日(土)～2017年1月9日(月・祝)

会期②/2017年1月13日(金)～2月12日(日)

会場/ボーダレス・アートミュージアムNO-MA(近江八幡市)

入場料/一般200円、高大生150円、障害のある方と付添者1名は無料



## 権利保護に関する研修会

2016  
8/10

### PROGRAM.1

「作者の権利保護に関する研修会 in 米原」

日時/2016年8月10日(水)13:30-17:00  
会場/滋賀県立文化産業交流会館 第2会議室  
定員/30名

2016  
8/31

### PROGRAM.2

「作者の権利保護に関する研修会 in 草津」

日時/2016年8月31日(水)13:30-17:00  
会場/草津市立市民交流プラザ 小会議室3  
定員/30名

作品を展示や販売する時、「作品取扱規程」を整備することで、作者と施設が安心して作品を利用できます。本研修では、著作権等保護の基礎から作品取扱規程作成の実践までを段階的に学んでいただけます。

※PROGRAM.1-2は日程、会場が異なりますが同内容です。  
※県調査(平成26年度)によると現在38の福祉事業所が著作権を意識した作品の取り扱いをしています。

#### <基礎編>

講義「**著作権等保護ガイドライン**」について」

講師/上野久美子氏(滋賀県健康医療福祉部障害福祉課主任事)

講義「**著作権や所有権の基礎を学ぶ**」

講師/平塚崇氏(法テラス滋賀法律事務所弁護士)

#### <応用編>

実践報告「**利用者や作品のために、こうして規程をつくりました**」

講師/中里幸奈氏([社福]かすみかいせ寮 支援員) 米原編

中澤玲子氏([社福]ロー能登川作業所 生活支援員) 草津編

意見交換「**他の施設はどのように取り組んでいるの?**」

事前に集めた各参加者からのお悩みについて、講師へ質問をしたり、参加者同士で意見交換を行います。

#### <実践編>

グループワーク「**作品取扱規程をつくってみよう!**」

意見交換で現状や課題を共有したあと、それぞれの取り組み具合に合わせてグループに分かれ、実際に「作品取扱規程」を作成します。著作権について現場で困っていることを講師に相談することもできます。

講師/平塚崇氏、上野久美子氏

2016  
9/14

### PROGRAM.3

「**作品をつかったグッズの製作と販売について**～福祉施設の実践報告と弁護士の講義から学ぼう」

日時/2016年9月14日(水)13:30-16:30  
会場/G-NETしが 研修室A(近江八幡市)  
定員/30名

近年、利用者の作品を二次利用してグッズ製作に取り組む(取り組もうとされている)福祉事業所が増えています。企業や福祉事業所からグッズ製作の実践を聞いた後、弁護士から二次利用の際に必要な作者の権利保護への配慮についてお話しいたします。

実践報告「**作品の二次利用とその販売について**」

作品を使った多様なグッズ制作の事例について紹介します。

講師/中島忠男氏([社福]一羊会所長)

光永惟行氏([社福]一羊会あとリエすずかけ職員)

三栖香織氏([社福]一羊会あとリエすずかけ職員)

「**作品の二次利用にあたって必要な権利保護**」

作品画像の切り取りや色の変更などの改変を行う場合を始め、作品の二次利用に際し、作者の権利保護の視点で配慮すべき点についてお話します。

講師/中久保満昭氏(あさひ法律事務所 弁護士)

意見交換

この機会にグッズ制作や権利のことについて聞いてみましょう。

## 昨年、研修会に参加した方の声

- ・権利関係のことについて反映できることばかりで、今後の実践に直接的に役立つ内容でした。
- ・自分の施設では作者の権利まで意識が向いていない段階なので活動の参考になりました。
- ・商品化について口頭の確認しかしてなかったので、書類にして本人の同意を得ていきたい。
- ・二次利用して商品を作り出したが行き詰まる 경우가多くあり、新しい考え方を知れてよかった。



## 美術活動に関する研修会

2016  
8/30

### PROGRAM.4

「**学芸員による作品展示の实地研修**」

日時/2016年8月30日～9月2日、11月30日～12月2日のうち実施日程は個別に調整  
会場/ボーダレス・アートミュージアムNO-MA  
講師/横井悠(ボーダレス・アートミュージアムNO-MA学芸員)  
NO-MAで実施する企画展の作品展示を体験し、作品展示の手法・ノウハウを習得します。

2016  
12/2

2016  
10/3

### PROGRAM.5 <活動体験1>

「**〈感触遊び〉の視点で造形活動を見てみよう!**」

日時/2016年10月3日(月)10:00-12:40  
会場/びわこ学園医療福祉センター野洲  
定員/5名

講師/水津哲氏(びわこ学園医療福祉センター野洲生活支援員)  
びわこ学園では重症心身障害児(者)に対し、1971年から粘土を中心に多様な素材を使って個々人に合う造形活動に取り組んでいます。造形活動支援の様子を見学したあと、講義を受けて意見交換していきます。

2016  
11/4

### PROGRAM.6 <活動体験2>

「**アトリエ活動と美術館からアール・ブリュットを考えよう!**」

日時/2016年11月4日(金)10:00-15:00  
会場/社会福祉法人松花苑みずのき(京都府亀岡市)  
定員/7名

講師/奥山理子氏(みずのき美術館ディレクター)  
1964年に日本画家の西垣籌一氏によって絵画教室が開かれたみずのきでは、国内外で注目を浴びる作品が多く生まれています。2012年には美術館を開館し、作品の発信にも力を入れています。アトリエと美術館を見学し、講義を受けたあと意見交換を行います。

## 昨年、研修会に参加した方の声

- ・実際使われている道具に触れられてよかった。
- ・もっと頭を柔らかくして見せ方の工夫をしないといけないと感じた。
- ・画材や収納スペースなど、たくさんの工夫が見られて勉強になった。

詳細が決まり次第ウェブサイトでご案内します。

<http://renkei-sgsm.net/glow>

※本展の実行委員会への参加者を随時募集しています。お問い合わせは裏面のアイサまで。